

## はじめに

財政危機に直面する中、施策・組織構造、行政運営システム、職員の意識など、これまでの右肩上がりの時代の府政の殻を打ち破り、府政の全面的な構造改革、府政の再生をすすめるため、昨年9月、大阪府行財政計画(案)をとりまとめた。

現在、計画(案)に記載された取組について、その着実な推進に努めているところであるが、府の財政状況は依然として厳しく、さらに、いわゆる「銀行税」の課税を平成14年4月1日以後に始まる事業年度としたことに伴い、減債基金からの借入れが一時的とはいえ増大している。こうした府政を取り巻く環境の変化等に迅速・的確な対応を図るため、計画(案)の取組のスピードアップや早期具体化、さらなる改革の取組が求められている。

このため、計画(案)の取組の進捗状況・前倒し・早期具体化、さらなる改革の取組について、組織の再編・スリム化、施策の再構築等、出資法人・公の施設の改革、歳入確保、経費節減の各分野について点検を行った。

また、府の273施策・1,846事業のうち、計画(案)では見直しの方向性が示されていない事業についても、施策評価を通じ再精査し、あらたな見直しについて検討を行った。

この資料は、現時点において、計画(案)の取組の前倒し・早期具体化を図るもの、さらなる改革に取組むもの、施策評価を通じて見直しをすすめるものについて、とりまとめを行ったものである。その内容は以下の通りであるが、引き続き、今年度の後半においても点検・検討をすすめることとしている。

	14年度取組	15～23年度取組	取組の主なもの
前倒し・早期具体化を図るもの	10項目 7.0億円	7項目 6.0億円	・大阪高速鉄道(株)長期貸付金の前倒し償還(約6.0億円) ・(財)大阪府ポートサービス公社の解散・清算に伴う収入(約1.0億円)
さらなる改革に取組むもの	4項目 8.4億円	2項目 1.2億円	・売却可能な府有地の新たな掘り起こし・売却の前倒し(約6.3億円) ・日本赤十字社(大阪府支部)長期貸付金の前倒し償還(約3.3億円)
施策評価により見直しを検討するもの	欄外*を参照	332項目 104.0億円	・別添「平成14年度施策評価の進捗状況」参照
経費節減に努めるもの	1項目 1.0億円	(1項目) 3.6億円	・庁舎借上げ料の縮減(14年度約1億円、15年度以降各年度約0.4億円)
計	15項目 16.4億円	341項目 102.8億円	

額については現在作業中であり、未確定の項目が多いため、現時点で一定見込める額のみを記載した。

\*あらたな見直しを行う75項目を含め、332項目について見直しを検討